

らなっています。一般会計は、福祉や教育、建設などの事業に使われる予算で、市の事業の大部分を占めています。

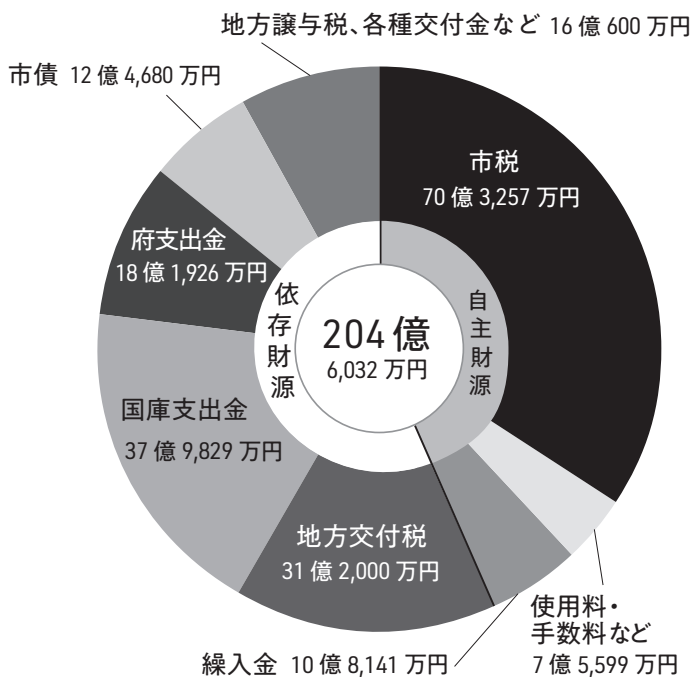
問い合わせ 行財政マネジメント室 ☎ 366-0011  
経営総務グループ ☎ 366-0011

## 歳入の説明

歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響により市税（個人市民税、法人市民税、固定資産税）で大幅な減収（約3億9,000万円）を見込んでいます。一方で、市税収入の落ち込みを補填する市債（臨時財政対策債）などの増収によって、必要な財源を確保する見込みとなっています。

（単位：千円）

| 一般会計          | 3年度        | 2年度        | 増減額      | 増減率   |
|---------------|------------|------------|----------|-------|
| 市税            | 7,032,572  | 7,418,299  | -385,727 | -5.2% |
| 使用料・手数料など     | 755,987    | 830,841    | -74,854  | -9.0% |
| 繰入金           | 1,081,408  | 992,721    | 88,687   | 8.9%  |
| 地方交付税         | 3,120,000  | 3,092,000  | 28,000   | 0.9%  |
| 国庫支出金         | 3,798,294  | 3,794,232  | 4,062    | 0.1%  |
| 府支出金          | 1,819,257  | 1,840,485  | -21,228  | -1.2% |
| 市債            | 1,246,800  | 1,059,300  | 187,500  | 17.7% |
| 地方譲与税、各種交付金など | 1,606,000  | 1,488,200  | 117,800  | 7.9%  |
| 合計            | 20,460,318 | 20,516,078 | -55,760  | -0.3% |



**市税** 市に納められる税金で、市では市民税と固定資産税が全体のおよそ9割を占める

**繰入金** ほかの特別会計からの繰入金や、基金（市の貯金のようなもの）から繰り入れて行政経費に充てるもの

**地方交付税** 国の税金の一部が毎年市町村へ配分されるもので、どのまちでも必要最小限の行政サービスを受けることができるよう交付されるもの

**国庫・府支出金** 特定の事業を行う際に、その財源として国・府から支出されるもので、たとえば学校や道路をつくるなどの負担金や補助金がある

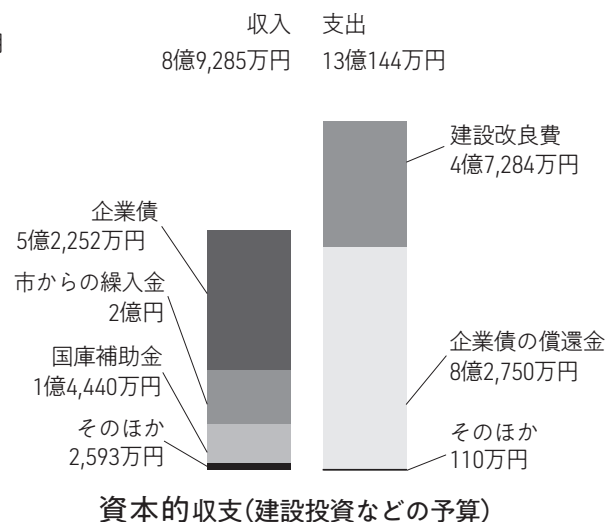
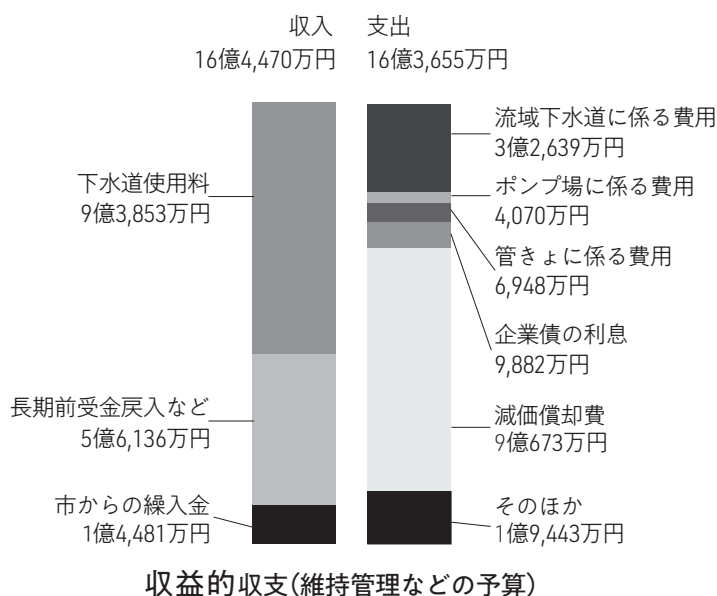
**市債** 主に建設事業の資金として国や銀行などから借り入れるもので、家庭での「ローン」

**歳出**

- 民生費** 福祉や医療費の助成、子育て、生活保護といった事業に充てられる経費
- 総務費** 職員の人事管理や企画、広報広聴、選挙などの事業に充てられる経費
- 教育費** 小・中学校、幼稚園、社会教育活動、スポーツ振興などの事業に充てられる経費
- 公債費** 債務（市債）を返済するための経費
- 土木費** 都市計画や公園、道路、交通対策などの事業に充てられる経費

## 下水道事業

令和3年度末に下水道の整備が完了している面積を880ha、年間有収水量を615万m<sup>3</sup>と想定しています。なお、資本的収支の不足額は、消費税資本的収支調整額3,845万円、損益勘定留保資金3億7,014万円で補てんします。



# 令和3年度 予算

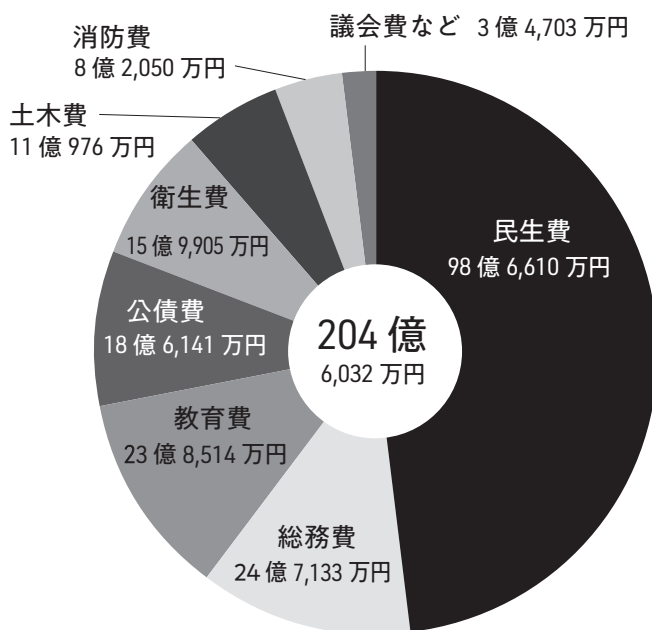
令和3年度の各会計の当初予算案を3月定例会議に提案しました。市の予算は一般会計、特別会計、企業会計の3つ

## 歳出の説明

歳出では、斎場火葬炉改修工事などの普通建設事業費の減額があったものの、福祉や少子化対策などの社会保障関係経費や公債費の増加から、本年度は財政調整基金という市の貯金を9億6,000万円繰り入れることで歳入歳出の均衡を保っており、依然厳しい財政状況にあると言えます。

(単位:千円)

| 一般会計  | 3年度        | 2年度        | 増減額      | 増減率   |
|-------|------------|------------|----------|-------|
| 民生費   | 9,866,098  | 9,781,805  | 84,293   | 0.9%  |
| 総務費   | 2,471,327  | 2,464,614  | 6,713    | 0.3%  |
| 教育費   | 2,385,139  | 2,395,169  | -10,030  | -0.4% |
| 公債費   | 1,861,411  | 1,793,661  | 67,750   | 3.8%  |
| 衛生費   | 1,599,047  | 1,754,848  | -155,801 | -8.9% |
| 土木費   | 1,109,758  | 1,200,964  | -91,206  | -7.6% |
| 消防費   | 820,505    | 771,723    | 48,782   | 6.3%  |
| 議会費など | 347,033    | 353,294    | -6,261   | -1.8% |
| 合計    | 20,460,318 | 20,516,078 | -55,760  | -0.3% |



## 会計別の予算

特別会計は一般会計から切り離して、特定の事業ごとに分けて経理する予算です。本年度は国民健康保険や介護保険、各財産区を含めた9つの特別会計があります。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、市では下水道事業会計がこれにあたります。水道事業は4月に大阪広域水道企業団と統合(広域化)し、運営します。

(単位:千円)

| 特別会計区分  | 3年度        | 2年度        | 増減額        | 増減率     |
|---------|------------|------------|------------|---------|
| 国民健康保険  | 5,999,992  | 5,985,651  | 14,341     | 0.2%    |
| 介護保険    | 5,654,176  | 5,433,095  | 221,081    | 4.1%    |
| 後期高齢者医療 | 1,081,486  | 1,055,445  | 26,041     | 2.5%    |
| 池尻財産区   | 5,317      | 5,416      | -99        | -1.8%   |
| 半田財産区   | 8          | 8          | 0          | 0       |
| 東野財産区   | 2,231      | 2,765      | -534       | -19.3%  |
| 今熊財産区   | 3          | 3          | 0          | 0       |
| 岩室財産区   | 2,688      | 1,615      | 1,073      | 66.4%   |
| 茱萸木財産区  | 20         | 4,254      | -4,234     | -99.5%  |
| 水道事業会計  | 0          | 1,576,926  | -1,576,926 | -100.0% |
| 下水道事業会計 | 2,937,993  | 3,074,755  | -136,762   | -4.4%   |
| 合計      | 15,683,914 | 17,139,933 | -1,456,019 | -8.5%   |

## まちづくり円卓会議から事業提案

まちづくり円卓会議から、令和3年度事業が提案されました。NPO法人南中学校区円卓会議については、交付金として計上しています。

問い合わせ 公民連携・協働推進グループ ☎366-0011

NPO法人南中学校区円卓会議(<http://nancyuu.com/index.htm>)

| 事業名       | 事業内容                                   | 予算額   |
|-----------|----------------------------------------|-------|
| 円卓会議交付金事業 | 地域コミュニティ誌の発行、様々な団体や個人との対話と交流の場づくりなどを実施 | 500万円 |

第三中学校区まちづくり円卓会議

| 事業名      | 事業内容                                                   | 予算額        |
|----------|--------------------------------------------------------|------------|
| 円卓会議推進事業 | 地域コミュニティ誌の発行、三中円卓マップによるウォーキング、菜の花いっぱい運動、防災ワークショップなどを実施 | 234万6,000円 |
| 夏まつり事業   | 住民同士が気軽に交流できる夏まつりなどの実施                                 | 150万2,000円 |

狭山中学校区まちづくり円卓会議(<http://sayamachuentaku.net/>)

| 事業名       | 事業内容                                    | 予算額        |
|-----------|-----------------------------------------|------------|
| 円卓会議推進事業  | 地域情報誌の発行、講演会の開催、ホームページの更新、福祉と教育の補助の充実など | 249万4,000円 |
| さやりんピック事業 | 防犯・防災、健康・福祉、環境などの要素を取り入れた競技などを実施        | 103万5,000円 |
| 美化活動事業    | 河川の清掃や美化に関する啓発看板の設置などを実施                | 13万円       |
| 地域文化祭事業   | 校区内で活動している人へ発表する機会を提供                   | 121万円      |

# 令和3年度主要事業

令和3年度においても、新型コロナウイルスとの共存の1年であるということ念頭に、感染症対策やウィズコロナ・アフターコロナの時代における、新たな生活様式の推進に向けた施策にも重点的に予算を配分しています。今後、刻々と変化する情勢を捉え、各施策の分野目的に沿った対策に適宜取り組みます。

●新規事業 ◎一部新規事業 ○継続事業  
 新型コロナウイルス関連応援策

## 1 子どもや若者の未来が輝くまちづくり

○育児パッケージPlus（プラス）配布事業 715万円

乳児と保護者が安心して出かけられるよう、乳児のいる家庭を対象に、リュック、消毒グッズ、使い捨てのおむつ交換シートなどがセットになった「育児パッケージPlus」を配布します。

●学校園規模適正化方針策定事業 42万円

時代の変化に対応した学習環境などを整備するため、「これからの学校園のあり方検討委員会」を設置し、地域別の人口動態や地域の特性を踏まえた市の学校園規模の適正化について検討を進めます。

◎教育ICT環境整備事業 6,383万6千円

配布したタブレット端末を効果的に活用し、学校や家庭で安全かつ適切にオンライン学習ができる環境を整備するとともに、授業での活用支援を担うGIGAスクールサポーターを配置して体制を強化します。

◎就学援助事業・特別支援教育就学奨励事業 8,774万2千円

経済的支援を必要とする家庭の児童・生徒の保護者に対して、オンライン学習に係る通信費を援助します。

## 2 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

●重層的支援体制整備事業 2,630万1千円

介護・障がい・子ども・困窮など、対象者の属性を問わずに相談を包括的に受け、重層的に支援する体制を強化します。

●地域生活支援入浴サービス事業 132万円

障がい児が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、入浴が困難な障がい児に、施設での入浴サービスを提供します。

●手話・多言語映像通訳事業 30万5千円

聴覚障がい者や外国人居住者などが、安心して医療機関で受診できるよう、映像で手話や多言語の通訳が利用できるシステムを搭載したタブレット端末を貸し出します。

○在宅ケア等継続支援事業 450万円

介護を必要とする人が新型コロナウイルス感染症の感染者または濃厚接触者となった場合であっても、引き続き介護サービスを受けられるよう、介護事業者が協力金を支給します。また、施設内で感染者などが確認された場合などに、事業運営を支援するため支援金を支給します。

## 3 自然と調和した活力のある快適なまちづくり

○水とみどりのネットワーク事業 8,321万円

「水とみどりのネットワーク構想」に基づき、狭山池を中心核とする周辺エリアの魅力向上やにぎわい創出をめざし、公民連携による副池オアシス公園などのリニューアルを視野に周辺整備を進めます。



●創業支援補助金事業 150万円

市内で創業する人に対し、支援補助金を支給します。

●事業継続支援事業 8,207万6千円

新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態宣言により、売り上げが大きく落ち込んだ事業者に対し、事業を継続できるよう支援金を支給します。

●キャッシュレス決済ポイント還元事業 1億2,607万1千円

個人消費の回復と事業者への支援、「新しい生活様式」に対応したキャッシュレス化を促進するため、キャッシュレス決済に対し、ポイントの還元を行います。





## 4 豊かな心と文化を育む まちづくり

### ●生涯学習推進計画策定事業 306万8千円

生涯学習に関する施策の方針を示し、その推進を図るため、「大阪狭山市生涯学習推進計画」を策定します。

### ●女性のための相談業務拡充事業 65万5千円

女性弁護士による女性のための無料弁護士相談を新たに実施するとともに、女性カウンセラーによる相談業務を増設し、コロナ禍においてDV被害や心に関する悩みを抱える女性が相談できる機会を拡充します。また、オンラインによる相談にも対応できるよう体制を整備します。



### ○文化会館施設改修事業 442万4千円

市民が快適に文化会館を利用できるよう、和式トイレの洋式化やオストメイトに配慮した改修に向け、設計業務を行います。

### ○郷土資料館展示事業 268万4千円

市の近代文化遺産をテーマに、展示解説の動画配信など「新しい生活様式」に合わせた手法を取り入れた企画展を開催します。

## 5 安全で安心できる まちづくり

### ●消防広域化事業 7億4,880万2千円

消防力の強化と救急救命体制のさらなる充実をめざし、4月から消防事務を堺市へ委託します。

### ●非常備消防力強化事業 675万3千円

消防団員の消防活動に関する意識の高揚、技術の向上のため、消防団訓練大会への参加や、放水訓練などの訓練活動を支援します。



### ●災害・緊急情報配信システム事業 152万4千円

災害時における情報や緊急情報など、防災行政無線で放送する内容を、メール・ファクシミリ・電話で配信し、情報発信の多重化を図ります。



## 6 施策の推進に向けて

### ○まちの活性化推進事業 775万5千円

狭山ニュータウン地区の活性化に向けて、市民が主体となって活発な議論を行い、実践につなげるためのプロジェクトを進めます。また、学識者や関係事業者、大阪府などで構成する「狭山ニュータウン地区再生連絡協議会」を設置し、市民や行政、事業者の取り組みのロードマップや戦略をパッケージとした「狭山ニュータウン地区再生推進計画」を策定します。



### ●公共施設等総合管理計画改訂事業 203万5千円

平成27年度に策定した「公共施設等総合管理計画」について、国の基準に基づく見直しを実施するほか、公共施設全体のあり方について、複合化などを含めた検討を行い、再編計画を策定します。

### ●業務効率化システム導入事業 509万5千円

庁内の事務連絡を効率化するチャットツールを導入するとともに、アンケート事務や簡易な電子申請ができるシステムを導入します。また、令和2年度に試行導入した、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を本格導入し、業務効率化を一層推進します。

ウィズコロナ・アフターコロナ、時勢に沿った施策